

2025（令和7）年度

第35回 こうさい療育・支援セミナー

公益財団法人 鉄道弘済会

総合福祉センター 弘 済 学 園

療育・支援の紹介

～三位一体となり、進んでいくために～



弘済学園
三好敏和

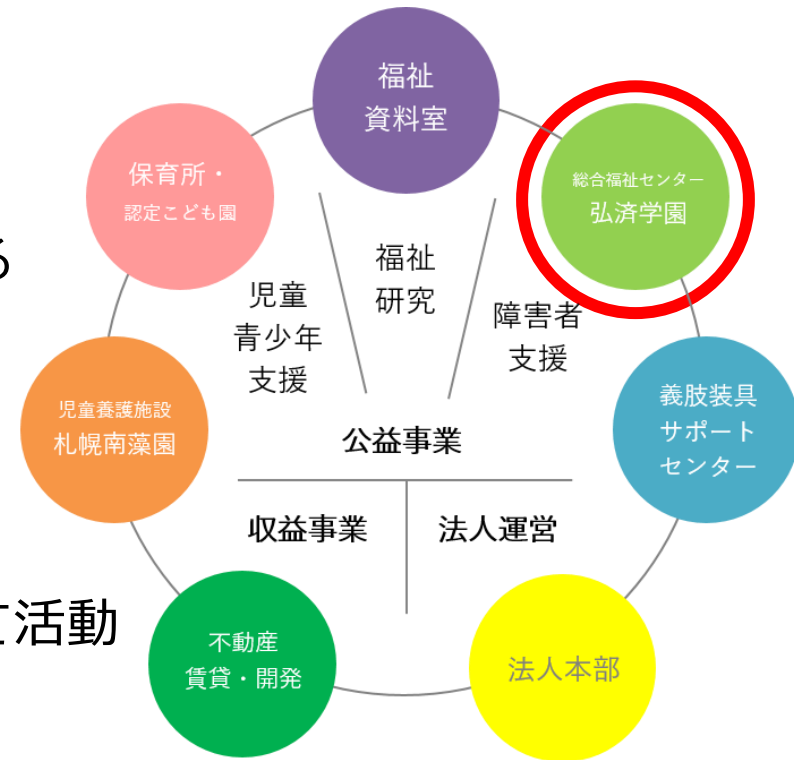
1. 公益財団法人 鉄道弘済会について

◆ 国鉄（現JR）がルーツの公益財団法人

…鉄道の業務に従事し不慮の事故により
身体に障害を負った方々等を援護する
ことを目的として設立

◆ 「自立型」の経営スタイル

…不動産事業の収益を福祉事業に充てて活動
安定的な収益基盤



→ 手厚い福祉サービスの提供、従業員の労働条件の充実

「義肢装具サポートセンター」

- 身体障害者福祉施設（荒川区：南千住駅前）
- 義肢／装具の製作から、装着訓練、機能回復訓練、更生相談までを入所設備を備えてサービス提供する民間では国内唯一の総合的リハビリテーション施設
- スポーツ義足の開発協力・製作、切断障害者のアスリート活動を支援



「保育所・認定こども園」

全国に24か所の認可保育所（10）・認定こども園（14）

- ・北海道：札幌市・函館市・旭川市・釧路市
- ・東北：青森（青森市）・宮城（仙台市）・秋田（秋田市）・山形（山形市）・福島（郡山市）
- ・関東：群馬（高崎市）・埼玉（さいたま市中央区・さいたま市浦和区・戸田市）・東京（荒川区）
- ・中部：新潟（新潟市）・長野（長野市）・富山（富山市）・福井（福井市）
- ・近畿：京都（福知山市）・和歌山（和歌山市）
- ・中国：島根（松江市）
- ・四国：香川（高松市）・愛媛（西条市）
- ・九州：福岡（北九州市門司・北九州市戸畑）

「札幌南藻園」

- 児童養護施設・定員48名
- 成長期にある児童を家庭的な雰囲気の中で養育
- 早期家庭復帰を支援
- 心身ともに健全な社会人となるよう、自立を支援



2. 弘済学園について



施設の風景

所在地 : 神奈川県 秦野市

人口 : 約16万人

名産品 : 蕎麦・落花生・地酒

名水百選 : 全国第1位を獲得

 小田急線 東海大学前駅 徒歩15分



地図データ ©2020 10 km



1) 地域生活支援



児童発達支援センター「すきっぷ」 （定員30名）

「単独通園」つき組／ほし組 （各10名：月～金 9～14時）

「親子通園」にじ組 （ 10名：月～金 10～13時）



放課後等デイサービス「わくわく」

- ・小学生～高校生（一日10名）
- ・平日の14時～18時まで。土曜日は午前から開所。
- ・保育所等訪問支援事業／障害児相談支援事業



デイケアセンター（定員30名）

生活介護（15名:園芸作業 花苗）
就労継続支援B型（15名:園芸作業 花苗・丹沢ハーブ）



グループホーム

- ・ 夢ハウス（4名）：JR東日本環境アクセス 弘済学園事業所 社員
- ・ 咲楽ホーム（5名）：デイケアセンター 利用者



2) 入所支援



児童寮



(福祉型障害児入所施設)

80名（神奈川55名・東京25名）

県内の福祉型児童入所施設の中では、一番定員の多い入所施設

30名（神奈川県籍児童のみ）

第二児童寮



体 育 館



プ ー ル



3) 入所利用者の特徴



2026年1月現在

- 入 所 者 ： 105名 （男子90名／女子15名）
- 平均年齢：男子14歳 女子13歳
（最年少3歳／最年長32歳）

未就学児	小学生	中学生	高校生年齢	18歳以上
6 名	30名	24名	30名	15名

2026年1月現在

① 「知的障害の重い方が多い」

最重度	重度	中度	軽度	未取得等
38.1%	37.2%	14.2%	8.5%	2.8%

② 「自閉スペクトラム症を併せ持っている方が多い」

男子	女子	平均
84.8%	78.6%	84%

③ 「契約入所の方が多い」

措置入所	契約入所
36.1%	63.8%



4) 支援の4つの特徴

～よりよい育ちのために～

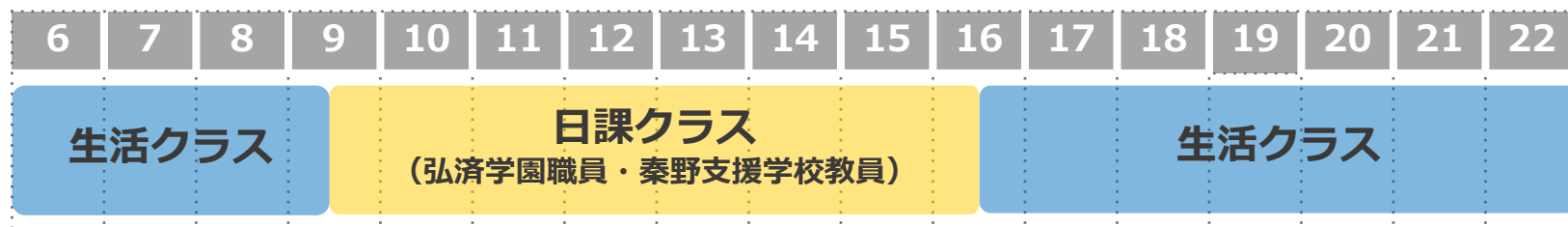


① 学校と施設が協働して日中を支援

■生活クラス（家庭の役割） 生活の基本的なリズム、ADLの習得

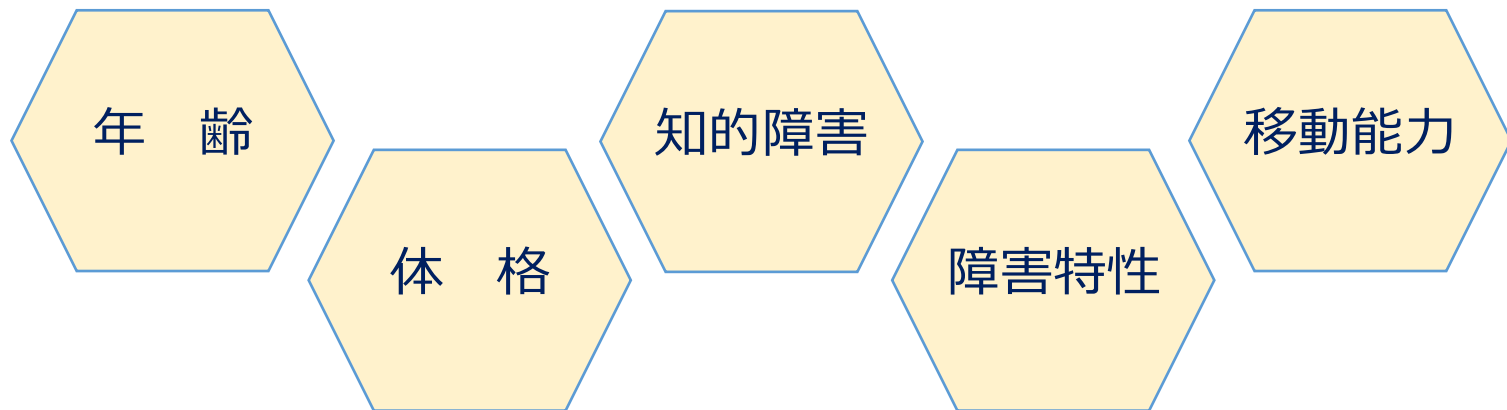
■日課クラス（学校の役割） 学校の教員と一緒にクラスを運営

- ・ 1983（昭和58）年より**施設訪問教育**
- ・ 障害の重い利用者に情緒安定と持てる力を発揮できる環境を提供



24時間 連携のとれた支援体制

② クラス編成の仕方



- ・ 8名～12名程度の近似値集団で形成、効果的支援が可能
- ・ 生活クラスは男女別編成、日課クラスは男女混合

③ クラス担任制

■生活クラス：3名のチームで一つのクラスを1年間担当

- ・ 平日：早番1名、遅番1名、休日1名をローテーション
- ・ 週末：早番1名、遅番1名、日勤1名で日中支援を展開

■日課クラス：1名で一つのクラスを1年間担当

- ・ 平日：9：00～17：25勤務
- ・ 週末：休日（土曜の出勤日あり）

関わる人が
一定

不安
少なく

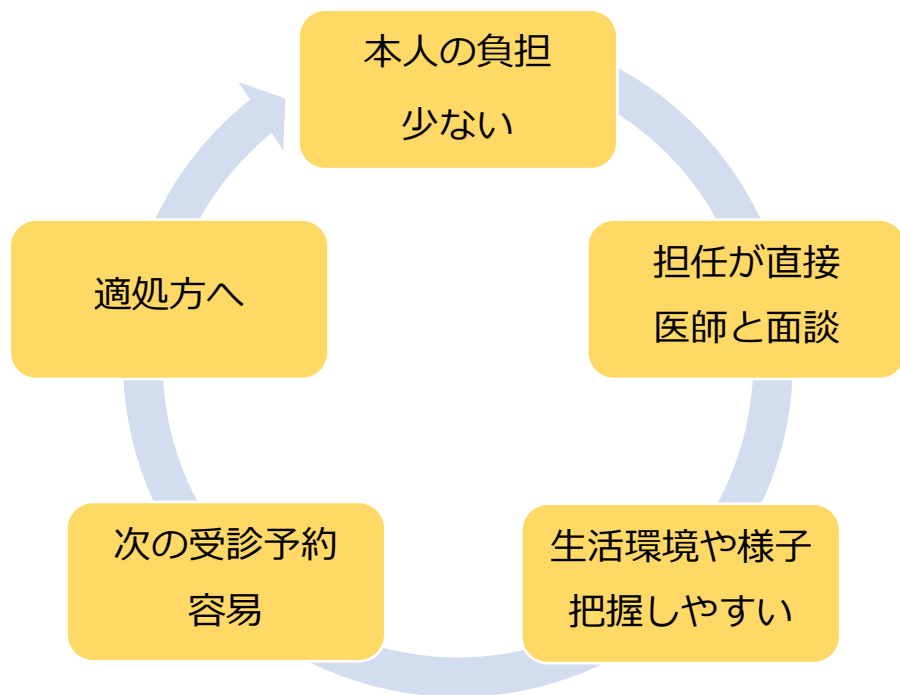
職員の心情洞察
も的確

安心
信頼関係

④ 精神科医療との連携

■弘済学園に付属診療所を併設

- ・ 北里大学と連携し、精神科医師が非常勤嘱託として週一回勤務
- ・ 入所児童の服薬相談、処方、調整



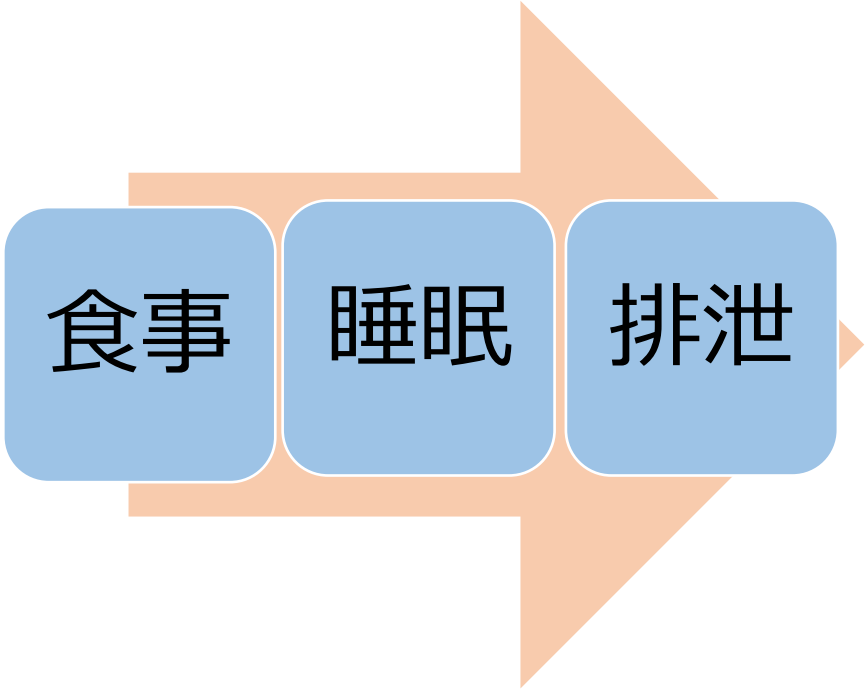
- ・ 衝動性や強迫性へのアプローチ
- ・ 睡眠を整える
- ・ てんかん治療

行動障害軽減の第一選択は行動のアセスメントと支援のあり方から。薬はあくまでも補助的な役割。

5) 成長に欠かせない 4つの軸



① 生理的三原則の整え



食事

睡眠

排泄

- 快適な生活リズムの基本
- 課題の前に、ここに着目
- 三原則が整うと行動も改善

② グループダイナミクス（集団活用）

近似値集団（クラス）に所属する

- ・自分と似た利用者と一緒にいることで、仲間を意識できる。

- ・クラスが1年間固定しているので、関わる支援者と利用者が限定されて明確。

各場面を一緒に行動する

- ・行動のモデルが自然と示されることになり、やるべきことが分かりやすい。

- ・支援者からの個別の働きかけによる刺激過多、ストレスの軽減。

「待つ」時間

- ・耐性や調整力が向上しやすい。
- ・行動の調整能力が向上し、協調性も身につけやすい。

- 「分かる」から安心
- 「できる」から楽しい
- 「ほめられる」からうれしい

③ 構造化

- ・ 「人」 関わる職員を年間で固定して同じに
- ・ 「時間」 プログラムの順番を同じに
- ・ 「場所」 プログラムの取り組む場所を同じに
- ・ 「方法」 教え方や関わり方を統一して同じに



③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化



③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化

お着替えエリア



③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化



テレビエリア

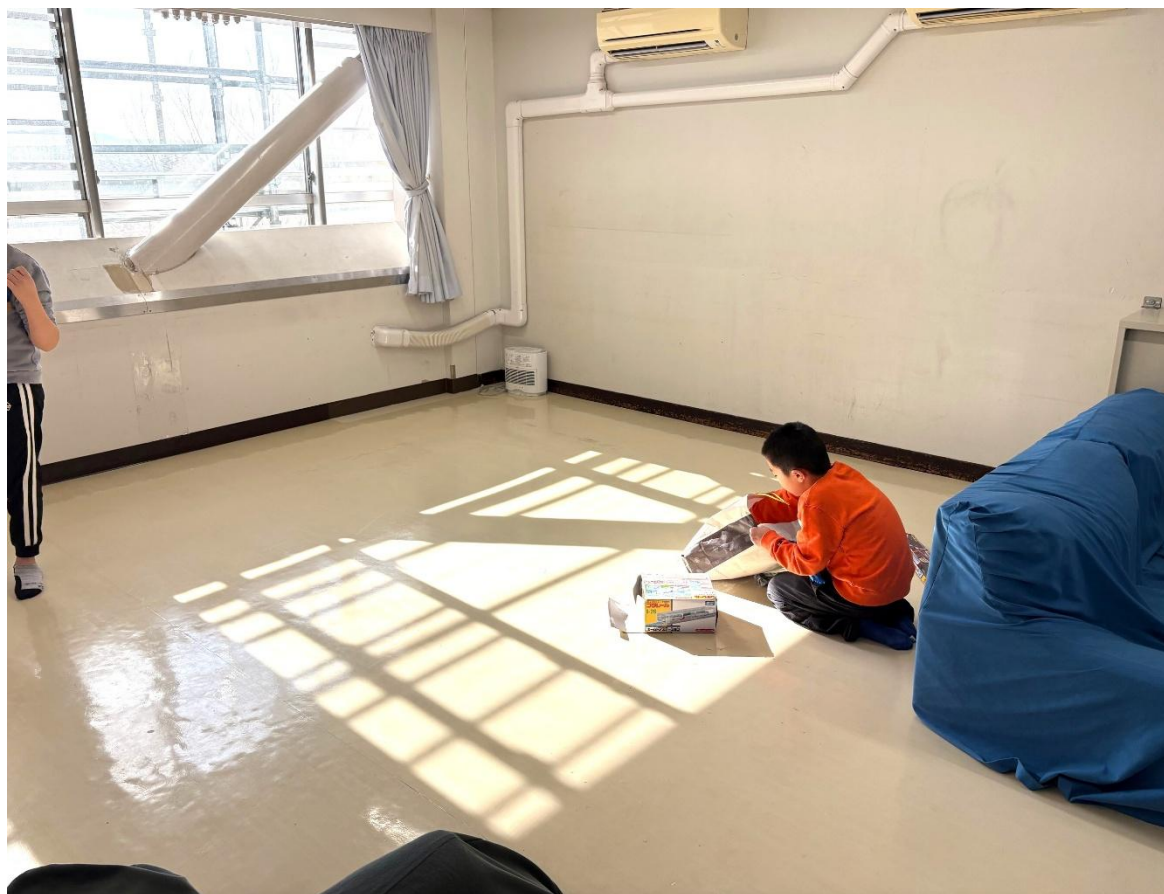


③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化



遊びエリア



③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化



集合エリア

ここは集まりをする場所です。
全員に伝達する時や、
移動前に集まる中継
所という意味のある
場所となります。



③構造化（例）

あるクラスのグループ室の構造化



人の構造化
指示系統の一本化

時間の構造化
日々の順番の固定化

場所の構造化
場所と行動の一致



④ プログラムの組み立て方

「動」と「静」のリズムとバランスに配慮して
プログラムへの適応力や集中力を高めます

静かなタイプの利用者が多いクラス



動くタイプの利用者が多いクラス



6) 弘済学園が目指す 3つの目標



弘済学園の「3つの目標」



1. 能力内自立

ほかの人と比べない、その子の100点を目指す！

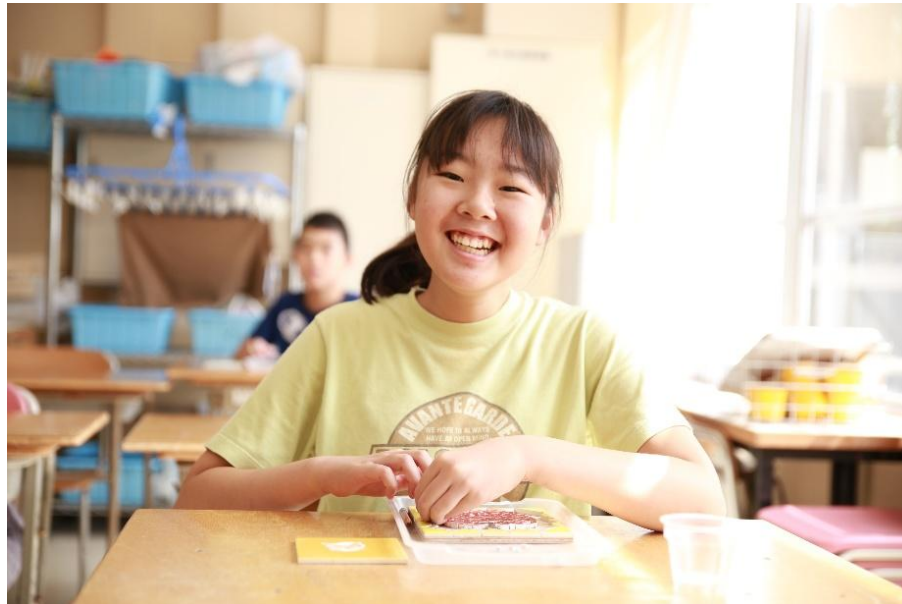
2. 円満な人格形成

集団生活を通して、協調性と心を育てます！

3. 「共感」「共育」「共生」

利用者も職員もリスペクト、一緒に成長します！

7) 生きる力を得るための 3つの要素



「3つの要素」

① 本人支援

本人への支援は私たちの責任

② 家族支援

子どもを支える家族の温かい愛情は成長には不可欠

③ 人材育成

支援をする人の育ちは利用者さんの成長につながる

① 本人支援

【支援の特徴 ～よりよい育ちのために～】

- ▶ 学校と施設が協働して日中を支援
- ▶ クラス編成の工夫
- ▶ クラス担任制

【成長に欠かせない4つの軸】

- ▶ 生理的三原則の整え
- ▶ グループダイナミクスの活用
- ▶ 構造化された日常生活
- ▶ プログラムの組み方の工夫

**お子さんが安心し、自信をもって
育つ姿を支えます！**

② 家族支援

【来園の機会が多い】

- ▶ 毎週末の面会、父母の会（毎月、年5回の日課参観あり）、誕生会
- ▶ 夏まつり、運動会、作品展（東京駅）、クリスマス会、クラス発表会
- ▶ 父母実習（日帰りや宿泊での我が子のクラスを参観）
- ▶ 親教室（クラス単位で開催）

【帰省期間】

- ▶ 春休み／夏休み／冬休み＝各 2 週間
- ▶ 5月休み／10月休み＝各およそ 1 週間

**お子さんにご家族の絆を深めて
みんなの元気を支えます！**

③ 人材育成

【OJT ～実践を通して学ぶ～】

- ▶ 日常の記録をつける
- ▶ 日常支援のサポートと先輩職員からのアドバイス
- ▶ 指導職からのスーパーバイズを受ける
- ▶ 各種ミーティング、ケースカンファレンスの実施 etc.

【OFF-JT ～体系的な知識を得る～】

- ▶ 内部研修：外部講師研修、管理職研修、人権擁護・虐待防止研修など
- ▶ 外部研修：研究大会等への参加、実践発表活用など

**お子さんの育ちと笑顔と元気を支えるために
私たちも学びます！**



家族



本人



学園

利用者さんを真ん中に
「ご家族」と「学園」が**両輪**になるように
進めていくことが大切



輝く笑顔

真剣な眼差し

みなぎる自信

利用者さん一人ひとりの健やかな成長を願って
より質の高い療育・支援を目指します！